

日本共産党市議団 補正予算組替え提案

第3回市議会8月26日

低所得者・市民生活支援、震災対策拡充 求める



日本共産党
よっちゃん通信
2026.9/13.287号

深刻な市民生活への支援なし

8月26日第3回市議会が開かれ、松原市長の所信表明、補正予算の提案がありました。

補正予算は、基金からの繰入額1億5千万円繰り入れをしながら、繰越金は18億2千万円、各目的基金へ11億8千万円を積立てました。（合計30億円）

予算には「木造住宅耐震改修助成金」の増額や「地震・フレカ―設置支援補助金」などが入りましたが、十分な財源があるにもかかわらず、深刻な市民生活支援、特に低所得者支援がなく、震災対策も不十分でした。

共産党の組替え

日本共産党市議団は、「物価が上昇するのに、給料はあまり変わらない」などの切実な声が寄せられているとして、緊急性の高い市民生活支援と、震災対策の拡充を盛り込んだ組替え提案を行いました。（次の内容）

1. ひとり親家庭への家賃補助
月1万円（140万円）

2. 生活保護受給者世帯に夏季見舞い金 月3千円×4カ月（1350万円）

3. 住民税非課税・住民税均等割のみ世帯に給付金1万円（1億200万円）

4. トイレカー1台購入（2650万円）

5. 家具転倒防止器具購入・設置助成 2万円×100世帯（200万円）

6. 不登校、私立・国立小中学校に通う児童・生徒に学校給食無償化相当額を支給（2900万円）

財源は、財政調整基金繰入金の減額△1億5253万1千円を削減、繰入金の額を2186万9千円としました。

採決の結果、賛成は共産党4人、無会派1人で賛成少数で否決されてしまいました。

残念！賛成少数

自民・公明・維新などは低所得者への支援や震災対策拡充は必要ないと考えているのでしょうか

